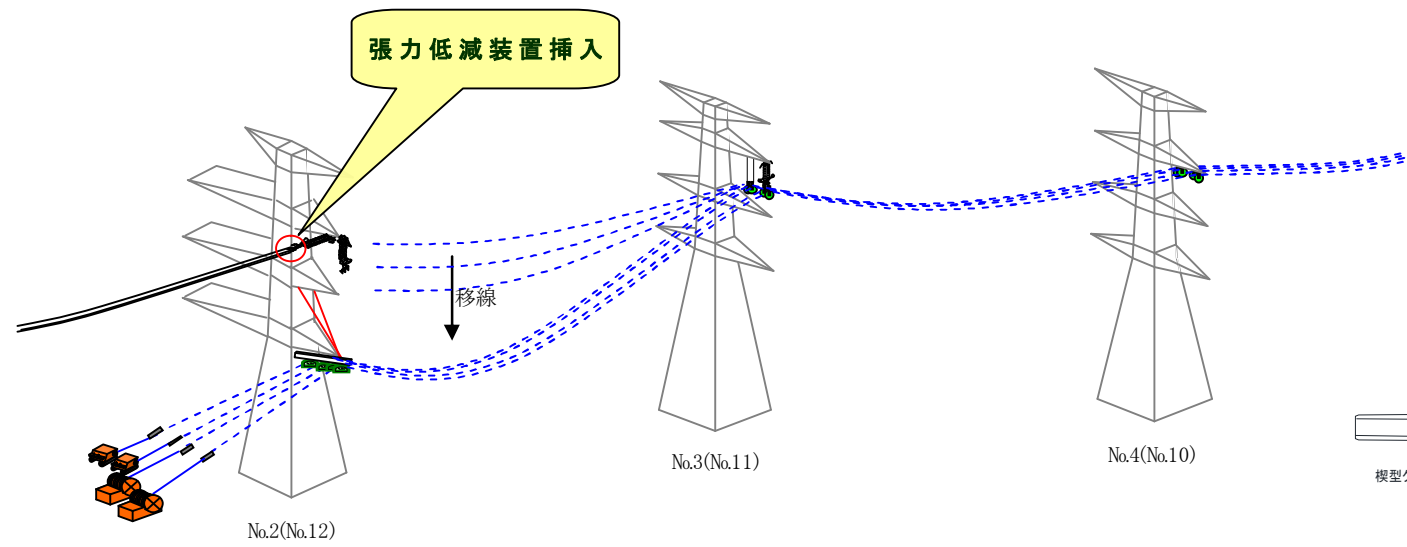


(1)電線張力低減装置及び電線張力低減工法の開発 [特許出願]

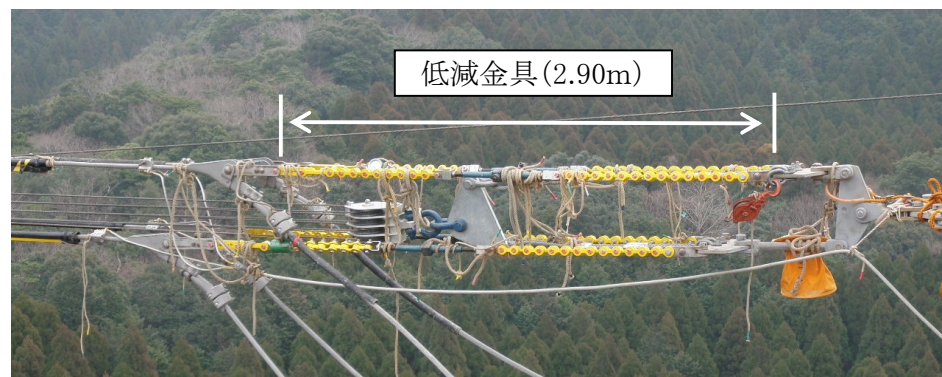
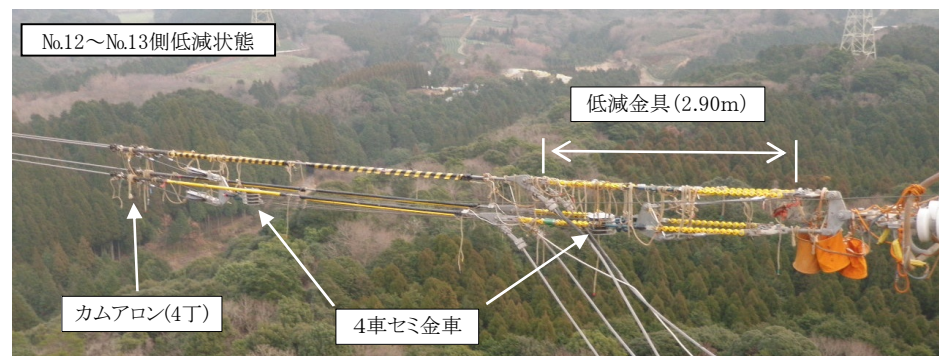
概要	4導体送電線の張替えに際して、張替側送電線と反対側の4導体送電線の張力を2条断線時の張力に低減させる装置及び工法に関するものである。
特長	2条断線時の張力に低減する事で4導体送電線を自由に緩線出来、また鉄塔支線、引き留めアンカーの設置が不要となり、工法の選択幅も増え工期短縮も期待出来る。

【4導体張力低減工法 概要図】

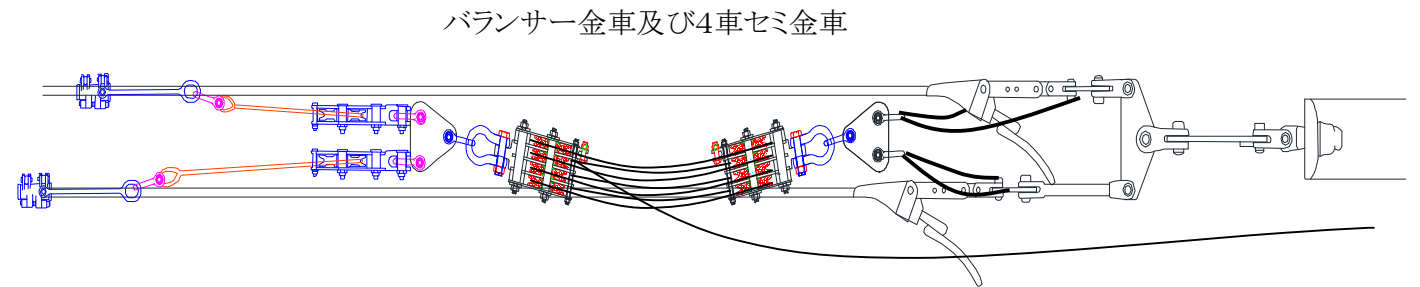


佐賀幹線 施工例
 施工例の作業では電線張替え作業時に延線境の鉄塔は1相断線状態となり強度不足となるため(設計は2条断線)、既設側電線の張力低減を行う。

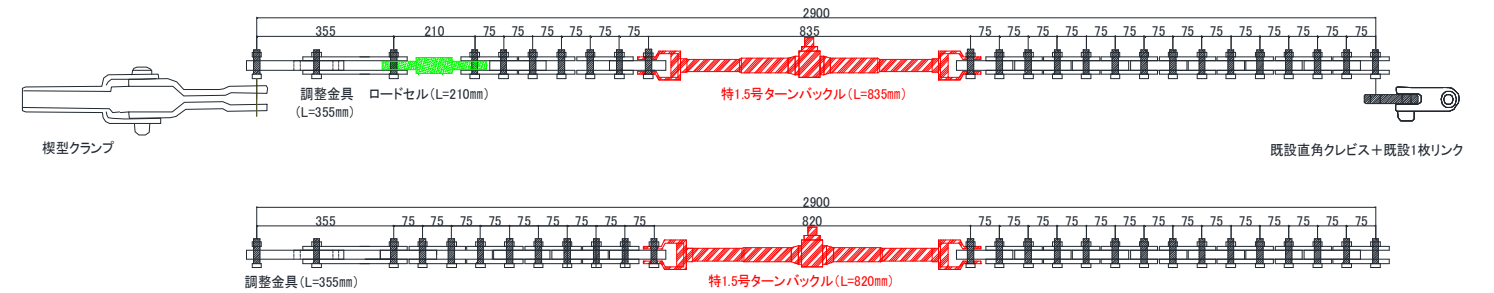
【施工写真】



【張力低減装置概要】



張力低減調整金具



【特許出願について】

発明の名称	電線張力低減装置及び電線張力低減工法
特許出願番号	特願2011-114341
特許願提出日	平成23年 5月23日
共同出願者	九州電力(株) (株)九建

同工法を採用した工事件名

発注者	電圧 (kV)	工事件名	回線	備考
九州電力(株)	500	佐賀幹線電線張替工事	2	